

クボタ空調株式会社 栃木工場

1 工場概要

- ▶ 住所 〒321-0905
栃木県宇都宮市平出工業団地28の1
- ▶ 従業員数 250名
- ▶ 敷地面積 32,357㎡



2 事業概要

- ▶ 事業内容
空調機の開発、設計、製造
- ▶ 主要製品
空調機器



横型空調機

3 工場変遷

- 1970.10 久保田鉄工(株)と米国トレーン社の合弁会社としてクボタトレーン(株)を設立
- 1971.10 栃木工場操業開始
- 1980 トレーン社との合弁を解消
- 1983.10 新組立棟落成
- 1994.04 テクニカルセンター落成
- 1998 社名をクボタトレーン(株)よりクボタ空調(株)へ変更

4 環境方針

▶ ISO環境方針

基本方針

当社は、空調機器の開発、設計、製造の全てのプロセスにおいて「地球規模で継続的な発展が可能な会社」「企業と市民が相互信頼のもとに共存する社会」の実現を目指し、地球環境の保全に配慮した活動、製品及びサービスの提供に努めます。

実施事項

1. 当社の活動、製品及びサービスにおける環境側面を適切に把握し、汚染の防止を図る環境マネジメントシステムを構築し、継続的な改善に努めます。
2. 当社の活動、製品及びサービスの環境側面に関連する法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項の遵守に努めます。
3. 当社は環境影響の軽減を図る目標を定め、その達成に努めます。
重点実施項は次の通りとします。
 - (1) 省資源、省エネルギー活動の推進
 - (2) 廃棄物のリサイクルと削減活動の推進
 - (3) 有害化学物質の代替化、又は削減活動の推進
 - (4) 環境に配慮した物品の使用及び製品の開発・設計の推進
4. この環境方針は文書化し、組織で働く又は組織のために働く全ての人に周知して、実施すると共に維持します。
5. 地域での環境保全活動への参画、支持に積極的に取り組み、地域との共生に努めます。
6. この環境方針は、社会への責任を示すために、一般の人の求めに応じて入手可能なものとします。

▶ ISO認証取得状況

1.	2004.08	ISO14001	1996年版	認証取得
2.	2005.08	ISO14001	2004年版	定期審査/移行審査
3.	2006.07	ISO14001	2004年版	定期審査
4.	2007.06	ISO14001	2004年版	更新審査
5.	2008.08	ISO14001	2004年版	定期審査
6.	2009.08	ISO14001	2004年版	定期審査
7.	2010.07	ISO14001	2004年版	更新審査
8.	2011.08	ISO14001	2004年版	定期審査

クボタ空調株式会社 栃木工場

5 環境保全中期計画 目標及び実績

課題	テーマ	管理指標	基準年度	2010年度			
				目標	実績	自己評価	目標未達の理由
地球温暖化防止	CO2の削減	CO2排出原単位	2008	▲4%	23.8%	×	生産高減少に対し、削減不足のため
		CO2排出量	2008	▲4%	1.9%	×	
	物流のCO2削減	CO2排出原単位	2008	▲2%	15%	×	遠方への出荷が集中したため
循環型社会の形成	廃棄物の削減	排出原単位	2008	▲4%	▲7.4%	◎	
	ゼロ・エミッション	埋立比率	—	0.5%以下	1.3%	×	
	水資源の節約	水使用量原単位	2008	▲2%	52%	×	生産高減少に対し削減不足又漏水もあったため
有害化学物質の削減	PRTR法対象物質の削減	排出移動原単位	2008	▲4%	30%	×	塗装2回塗り仕様増加のため

※自己評価の基準 ◎:目標超過達成 ○:目標達成 ×:目標未達成

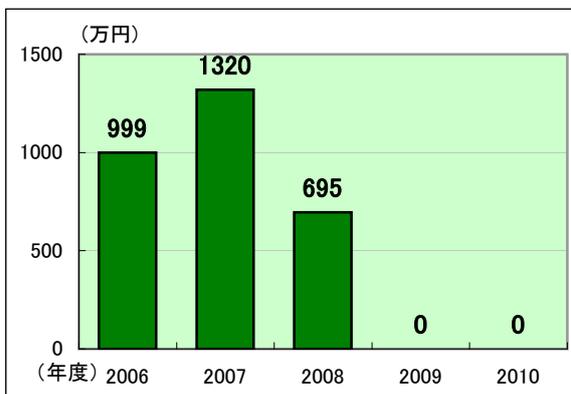
注)環境保全中期計画のCO2排出量実績値の算定の際は、2008年度のCO2排出係数を使用しています。

クボタ空調株式会社 栃木工場

6 環境会計

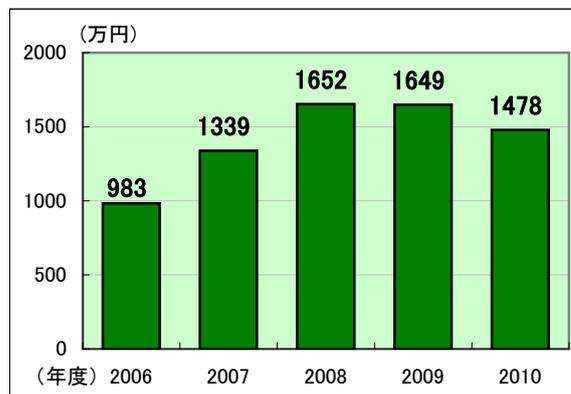
① 環境投資

2010年度： 0万円



② 環境保全費用

2010年度： 1478万円



③ 環境保全効果

効果の内容	効果	2009年度	2010年度	効果	対前年度比
事業活動に投入する資源に関する効果	エネルギー使用量(熱換算GJ)	30,395	32,360	1,965	106%
	水使用量(m ³)	51,682	72,899	21,217	141%
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	CO ₂ 排出量(t)(エネルギー起源)	1,370	1,380	10	101%
	SO _x 排出量(t)	0.10	0.10	0.000	100%
	NO _x 排出量(t)	0.219	0.230	0.01	105%
	ばいじん排出量(t)	0.031	0.034	0.003	110%
	PRTR対象物質排出・移動量(t)※	1.06	1.09	0.03	103%
	廃棄物排出量(t)	113.0	138.0	25	122%
	廃棄物埋立量(t)	0.00	10.80	11	-

※PRTR法届出対象以外の物質も含んでいます

④ 経済効果

2010年度： 172万円

分類	内容	年間効果
省エネルギー対策	電気料金の削減	172万円
合計		172万円

クボタ空調株式会社 栃木工場

7 環境パフォーマンス

① 地球温暖化の防止

省エネルギー活動

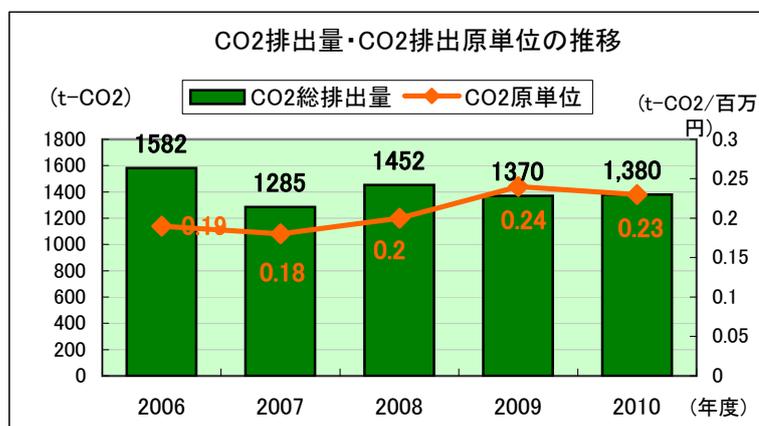
主な使用エネルギーは、
電気、都市ガス、重油です。



CO2排出量の削減

総排出量 : t-CO2

原単位 : tCO2/百万円(生産金額)



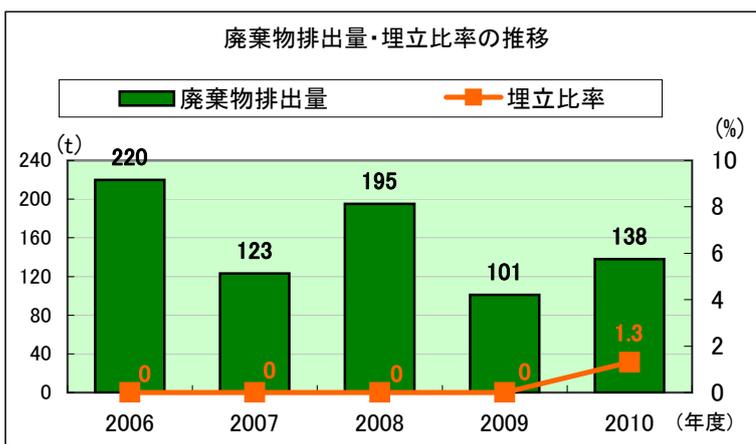
② 循環型社会の形成

廃棄物排出量の削減

2010年度は、ダンボール類を一般
廃棄物として33t/年排出しま
した。

ゼロ・エミッション化

2003年度よりゼロ・エミッション
を達成していましたが、2010年
度、中間処理後、一部を埋立
処理しました。



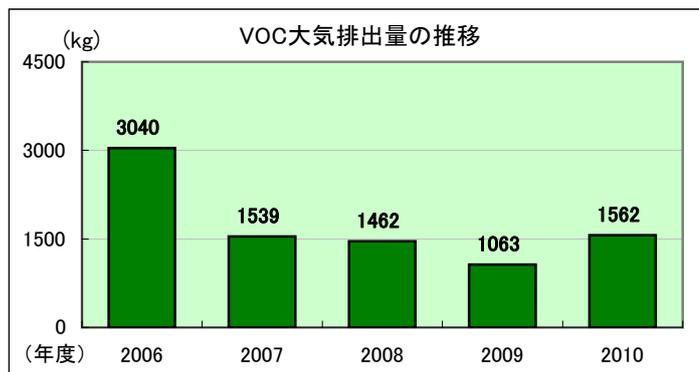
クボタ空調株式会社 栃木工場

③ 有害化学物質の削減

VOC大気排出量の削減

トルエン・キシレン・エチルベンゼンの
取扱量合計の推移です。
2010年は、2回塗り塗装が
増加して、315kg/年増えて
います。

※取扱量が1トン未満のものも
集計しています。



PRTR法対象物質の排出量・移動量

(kg)

政令No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
53	エチルベンゼン	275					122
71	塩化第2鉄	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
80	キシレン	458					193
300	トルエン	359					164
448	メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※取扱量が1トン未満の物質も記載しています。

8 環境コミュニケーション

① 地域美化活動

名 称 工場周辺の清掃活動
日 付 2010年6月17日
参加人数 50名

② 教育への支援

名 称 緊急事態想定訓練
日 付 2010年6月22日



クボタ空調株式会社 栃木工場

9 サイトデータ

▶ INPUT

エネルギー使用量	原油換算 KL	835
----------	---------	-----

水使用量	万m ³	7.3
------	-----------------	-----

▶ OUTPUT

CO ₂ 排出量	t-CO ₂	1,380
---------------------	-------------------	-------

排出ガス	主要ばい煙発生施設		7tボイラー			電着乾燥炉		
	項目	単位	規制内容	規制値	測定値	規制内容	規制値	測定値
SOx	総量規制・ K値規制ともにm ³ N/h		K値規制	1.92	0.1	K値規制	0.64	0.1未満
NOx	総量規制:m ³ N/h, 濃度規制:ppm		濃度規制	180	75	濃度規制	230	5未満
ばいじん	g/m ³ N		濃度規制	0.3	0.005	濃度規制	0.2	0.005未満

排出ガス	主要ばい煙発生施設		電着小型ボイラー		
	項目	単位	規制内容	規制値	測定値
SOx	総量規制・ K値規制ともにm ³ N/h		K値規制	0.76	0.1未満
NOx	総量規制:m ³ N/h, 濃度規制:ppm		濃度規制	—	—
ばいじん	g/m ³ N		濃度規制	—	—

排水量	万m ³	工業団地排水	7.3
汚濁負荷量	COD	kg/年	—
	窒素	kg/年	123
	りん	kg/年	—

排水	放流先	項目	単位	総合排水マンホール	
				規制値	測定値
公共用水域		pH	—	5.8~8.6	7.2~7.5
		BOD	mg/l	20以下	1.9
		COD	mg/l	—	7.5
		六価クロム	mg/l	0.1以下	0.02未満
		鉛	mg/l	0.1以下	0.01未満
		SS	mg/l	40	1.8

廃棄物排出量	t	138
埋立比率	%	1.3